

# 第1回 持続可能な生活道路 除排雪の在り方検討会

事務局説明資料  
札幌市建設局雪対策室事業調整担当課

# 目次

## 1 生活道路除排雪の在り方検討の背景

1) 生活道路の「除雪」と「排雪」

2) 排雪支援制度の成り立ち

## 2 生活道路除排雪における

「地域・行政・事業者」の現状と課題

## 3 意見交換やご議論いただきたい内容

# 1 生活道路除排雪の在り方検討の背景

1) 生活道路の「除雪」と「排雪」

2) 排雪支援制度の成り立ち



# 1 生活道路除排雪の在り方検討の背景

## 1) 生活道路の「除雪」と「排雪」

「冬のみちづくりプラン2018」など雪対策の基本計画において、目標とする『**除雪水準**』（**管理水準**）を設定

|      | 圧雪厚    | 幅員確保       |
|------|--------|------------|
| 主要幹線 | 3cm以内  | 4車線以上      |
| 幹線   | 5cm以内  | 3車線以上      |
| 補助幹線 | 25cm以内 | 1.5車線以上    |
| 生活道路 | 30cm以内 | 1車線+歩行空間以上 |

※目標とする「圧雪厚」と「幅員」を示したものです。（大雪時は除く）

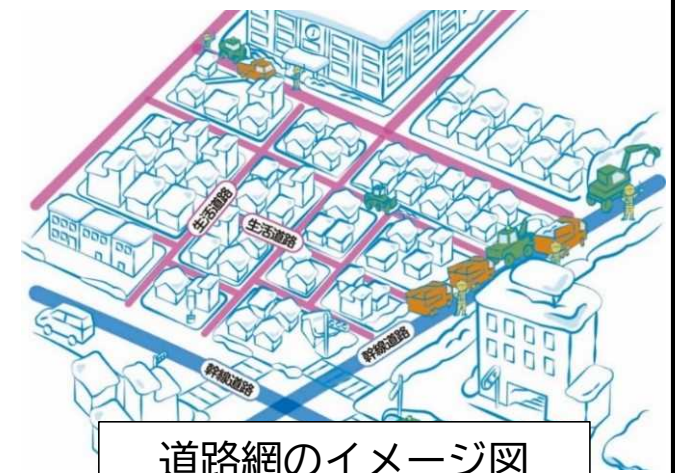
### 生活道路(検討対象)



厳冬期の断面図(8m道路の場合)



冬期間の生活道路の状況



道路網のイメージ図

# 1 生活道路除排雪の在り方検討の背景

## 1) 生活道路の「除雪」と「排雪」・・・新雪除雪

| 項目   | 幹線道路                                                                                                               | 生活道路                         | 歩道 <sup>1</sup>     |
|------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------|---------------------|
| 作業内容 | ・ 車道に降った雪を歩道側に寄せる（かき分け除雪）                                                                                          | ・ 道路に降った雪を歩道や住宅側に寄せる（かき分け除雪） | ・ 歩道に降った雪を車道側に積み上げる |
| 出動目安 | ・ ほぼ連続した降雪で、雪の深さが10cmを超えており、車や人の通行に支障が発生すると予想される場合<br>・ 交通量が多くて、圧雪による交通障害の発生が予想される場合<br>・ 風雪や地吹雪で、吹きだまりの発生が予想される場合 |                              |                     |

<sup>1</sup>対象路線：有効幅2.0m以上の歩道のうちJR・地下鉄駅や公共施設周辺などの歩行者の多い場所



幹線道路における新雪除雪



生活道路における新雪除雪



歩道の新雪除雪

作業時間： 0～6時ごろ（渋滞や事故を避けるため、通勤時間までに実施）

# 1 生活道路除排雪の在り方検討の背景

## 1) 生活道路の「除雪」と「排雪」

| 項目   | 路面整正                                                                                            | 拡幅除雪                                                                                      |
|------|-------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------|
| 作業内容 | <ul style="list-style-type: none"><li>・路面の凸凹やワダチを削って平らにし、削った雪を道路脇に寄せる（家の出入り部に寄せる雪は緩和）</li></ul> | <ul style="list-style-type: none"><li>・走行幅員を広げるため、道路脇の雪山の裾をかきとり、山の上に積み上げる</li></ul>       |
| 出動目安 | <ul style="list-style-type: none"><li>・路面状況が悪化したとき</li><li>・暖気になり、圧雪がザクザクになったとき</li></ul>       | <ul style="list-style-type: none"><li>・道路の幅が狭くなったとき</li><li>・次回の新雪除雪の作業に支障があるとき</li></ul> |



路面整正の作業状況



拡幅除雪の作業状況

# 1 生活道路除排雪の在り方検討の背景

## 1) 生活道路の「除雪」と「排雪」

| 項目   | 市が行う排雪                                   |                   | 地域と市が<br>協働で行う排雪      |
|------|------------------------------------------|-------------------|-----------------------|
|      | 幹線道路等                                    | 通学路               | 生活道路                  |
| 作業内容 | ・ 道路脇の雪山等をダンプトラックに積み込み、雪堆積場や融雪施設へ運び入れる作業 |                   |                       |
| 対象   | ・ 交通量の多い幹線道路<br>・ 地下鉄駅等の車が集中する道路         | ・ 各学校で指定された通学路の一部 | ・ パートナースhip排雪等を申請した地域 |
| 時期   | 1月上旬～2月上旬                                |                   | 1月末～3月上旬              |

生活道路の排雪支援制度

「パートナースhip排雪」 「市民助成トラック」



# 1 生活道路除排雪の在り方検討の背景

1) 生活道路の「除雪」と「排雪」

2) 排雪支援制度の成り立ち





# 1 生活道路除排雪の在り方検討の背景

## 2) 排雪支援制度の成り立ち

札幌市は交通量の多い幹線道路等の排雪を行ってきたが、生活道路では行っていなかった



ロータリ除雪車による排雪作業



市民による雪割り運動

幹線道路の排雪作業や市民による雪割り運動の様子（昭和30年代）



排雪により、雪解けも早くなるなど、より快適な冬期生活環境が得られるため、地域から生活道路の排雪を望む声

# 1 生活道路除排雪の在り方検討の背景

## 2) 排雪支援制度の成り立ち

### 市民助成トラック制度（昭和44年～）

町内会などで道路の排雪を行う場合、市から年1回無料で運搬用トラックを貸し出す。  
雪を積み込む作業は、申請団体が手配した業者などが行う。

### パートナーシップ排雪制度（平成4年～）

市民(地域)・除雪事業者・行政の3者が役割分担し、連携協力しながら生活道路の排雪を実施する。

利用団体と札幌市で排雪費用を分担して実施



⇒ 排雪を希望する場合「どちらの制度を利用するか」  
は地域の実情に合わせて選択

# 1 生活道路除排雪の在り方検討の背景

## 2) 排雪支援制度の成り立ち

### パートナーシップ排雪制度の役割分担

#### 地域(市民)

- ・ 地域内の合意形成
- ・ 申請手続き
- ・ 地域支払額の費用負担

#### 事業者

- ・ 運搬排雪作業の実施
- ・ 安全対策

#### 行政

- ・ 申請の受理、排雪費用の積算
- ・ 作業の指示・監督
- ・ 作業の費用負担

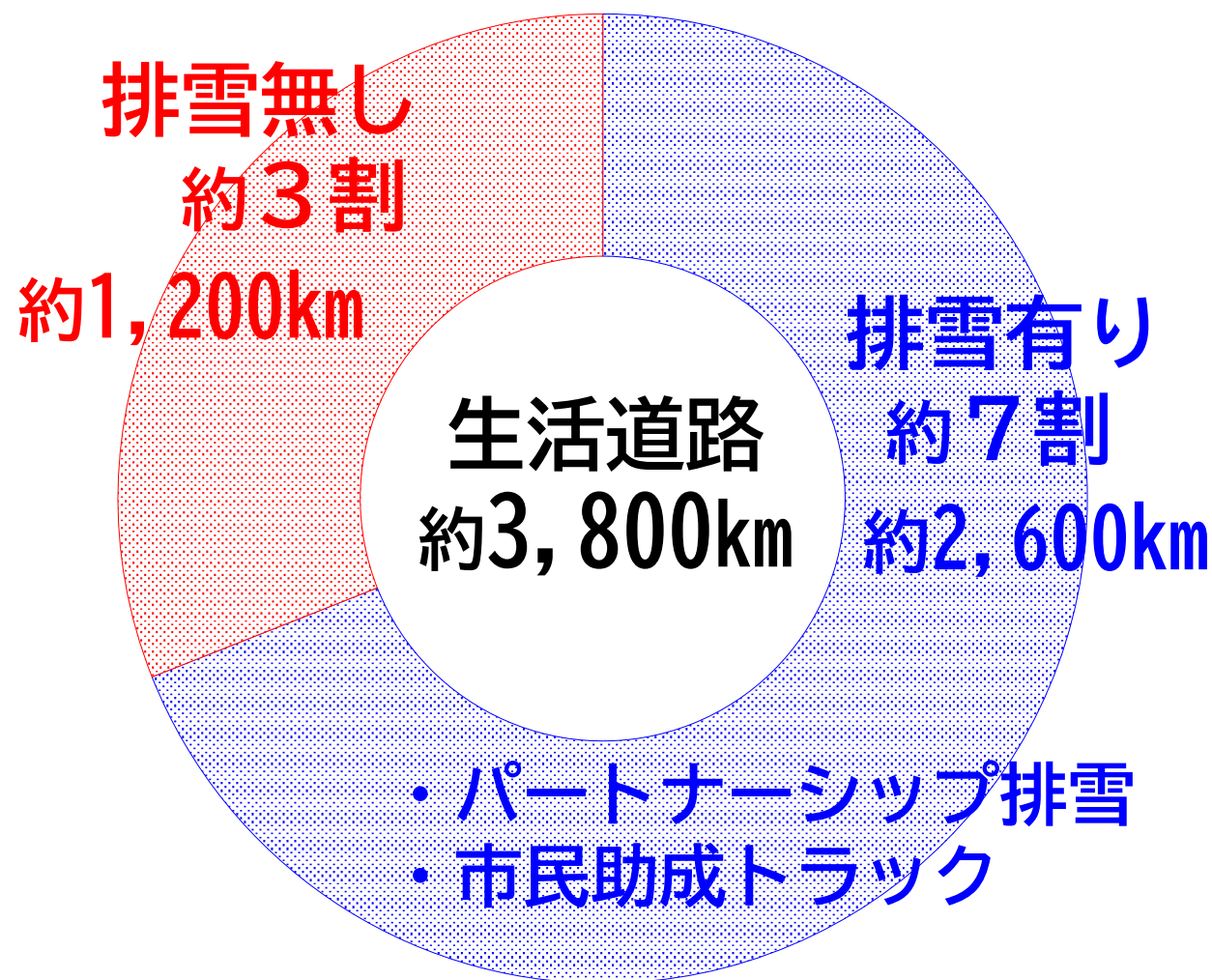
⇒ 協働の取組として、創設から30年以上が経過し、社会情勢も変化してきている

## 2 生活道路除排雪における 「地域・行政・事業者」の現状と課題



## 2 「地域・行政・事業者」の現状と課題

### 生活道路の排雪作業の現状



地域と行政が費用を出し合って排雪



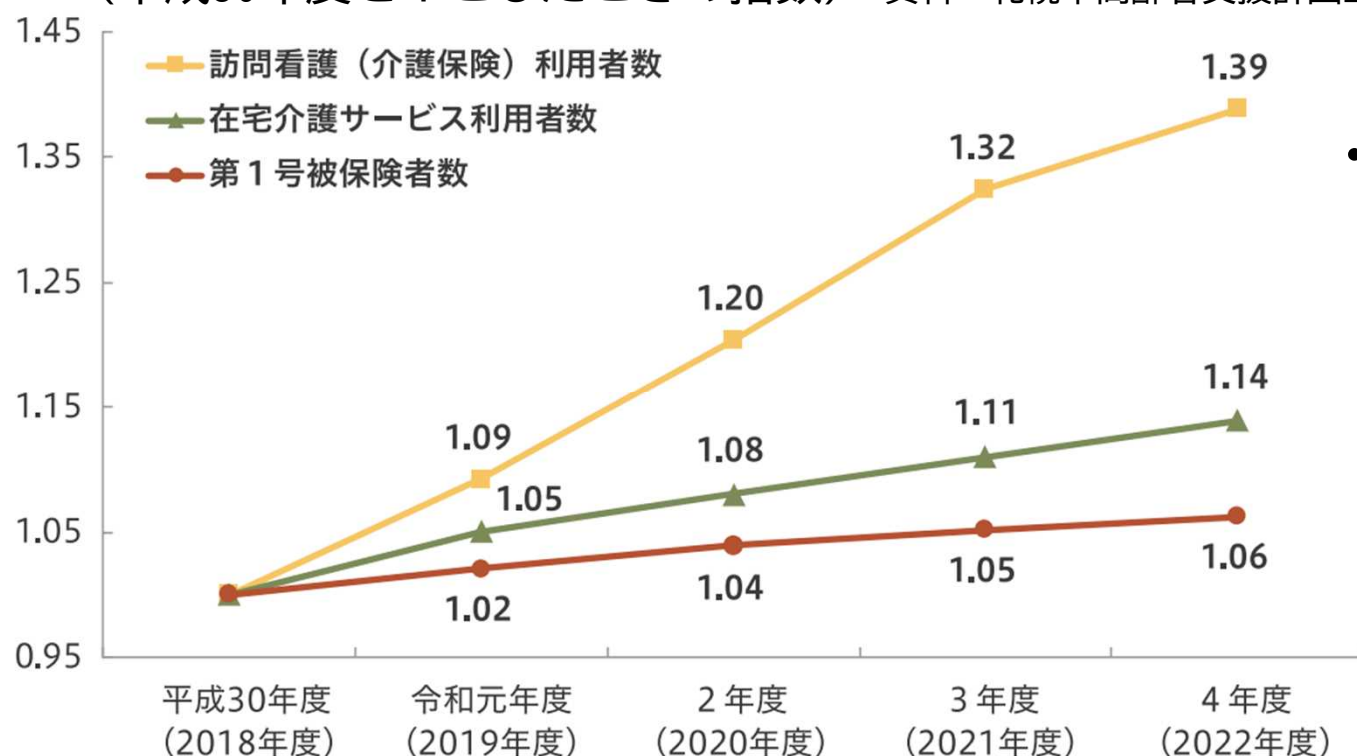
⇒ 排雪支援制度を利用し、排雪する生活道路と排雪しない生活道路がある

## 2 「地域・行政・事業者」の現状と課題

### 「地域」の現状と課題【市民ニーズの変化】

#### 在宅介護サービスや宅配事業の利用増

札幌市の第1号被保険者数、在宅介護サービス利用者数と訪問看護利用者数の推移  
(平成30年度を1としたときの指数) 資料：札幌市高齢者支援計画2024



・高齢者の在宅介護サービス利用者数や訪問看護利用者数は年々増加傾向

・食品や日用品などの宅配、ネットショッピングの普及等により、宅配事業の利用も増加

⇒ 生活道路の役割が変化、住民以外の各事業者も通行

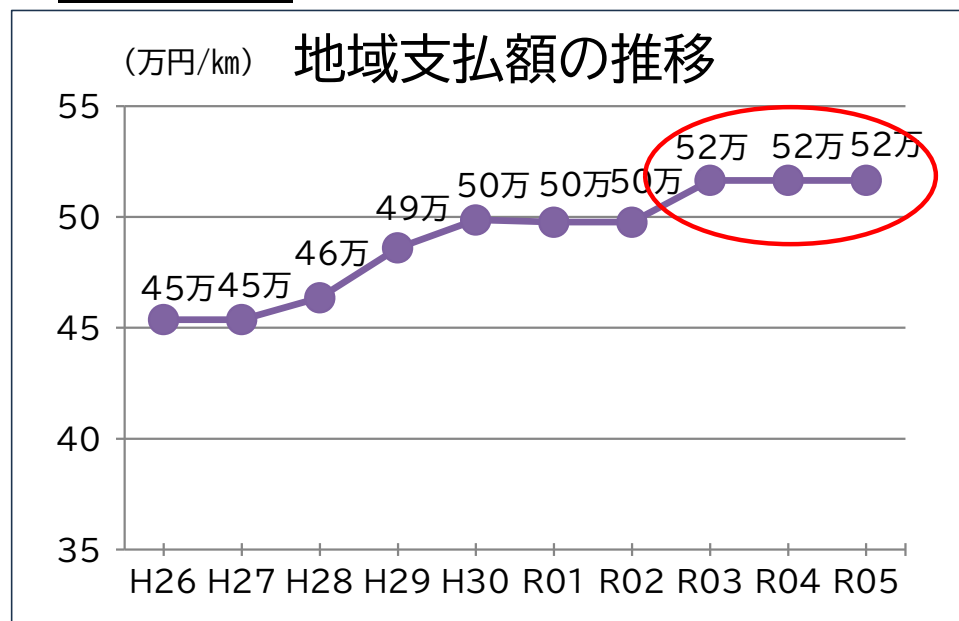


## 2 「地域・行政・事業者」の現状と課題

### 「地域」の現状と課題【パートナーシップ排雪制度】

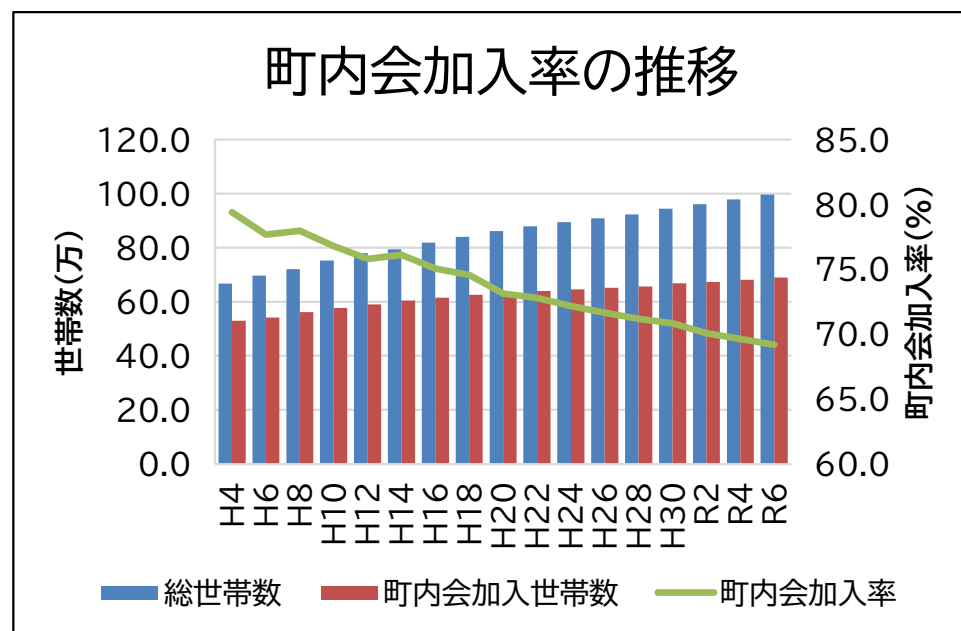
#### 排雪費用の上昇

- ・ 労務費等の上昇に伴い年々増加
- ・ 地域支払額はH30に50万円/kmを超える



#### 不公平感の増大

- ・ 町内会加入率はH4の8割弱から、R6には7割弱まで低下  
費用負担をする・しない世帯



- ・ 物価高騰など町内会活動の負担軽減を求める声  
⇒ 地域支払額を令和3年度の金額に当面据え置き
- ・ 排雪費用の支払割合は、当初、地域5：行政5であったところが地域3 (52万円/km)：行政7 (120万円/km)



## 2 「地域・行政・事業者」の現状と課題

### 「行政・事業者」の現状と課題【将来的な担い手不足、高齢化】

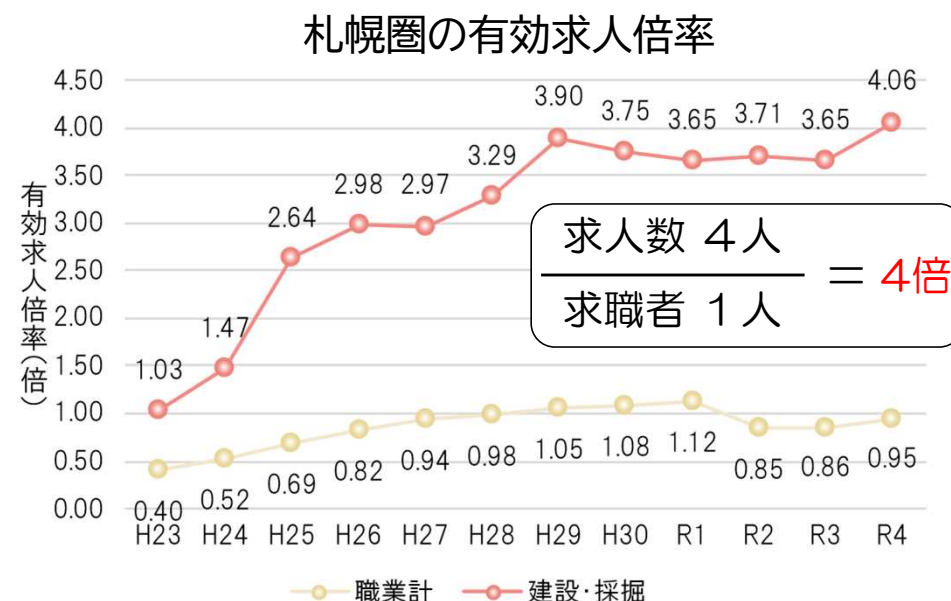
#### 担い手(除雪従事者)の高齢化

- ・ 除雪オペレーター、作業員ともに半数以上が50歳以上
- ・ 10～20年後には半数以上が退職を迎えている可能性

| 分 類          |       | R4調査 |                        |
|--------------|-------|------|------------------------|
| 除雪<br>オペレーター | 50歳以上 | 50%  | 19%(60歳以上)<br>31%(50代) |
|              | 50歳未満 | 50%  | -                      |
| 作業員<br>ほか    | 50歳以上 | 52%  | 26%(60歳以上)<br>26%(50代) |
|              | 50歳未満 | 48%  | -                      |

#### 建設業の人手不足(主な担い手)

- ・ 札幌圏の有効求人倍率はH28から3倍を超える水準、R4には4倍を超えて悪化傾向



#### 働き方改革の推進

- ・ 時間外労働の上限規制など長時間労働抑制に向けた動きも加速

⇒ 現行の除排雪作業の継続が困難になる可能性

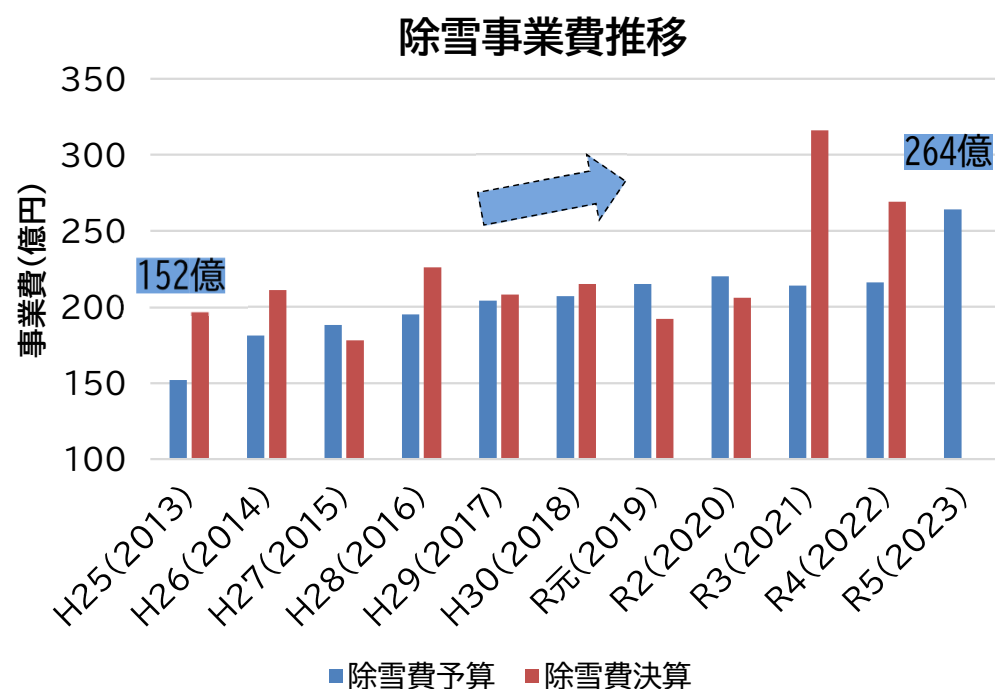
## 2 「地域・行政・事業者」の現状と課題

### 「行政・事業者」の現状と課題【事業費、大雪等への備え】

#### 除排雪にかかる事業費の推移

- ・労務費などの上昇により、年々増加傾向

(予算額)H25\_152億円 ⇒ R5\_264億円



#### 大雪・異常気象への備え

- ・令和3年度の大雪や令和5年度の暖気など、特異的な気象への対応

[令和3年度]

20cm以上の日降雪量を6回観測

[令和5年度]

2月中旬に最高気温が10℃を超える日が3日間



⇒ 限られた予算の中で、まとまった降雪(ドカ雪)や暖気などにも、機動的・臨機な対応が求められている

## 2 「地域・行政・事業者」の現状と課題

### 令和5年度 各区連合町内会長との意見交換

<生活道路除排雪の在り方検討>

実施期間：令和5年9月5日～12月5日

出席者総数：105名

～主な意見～

#### ① 市民の費用負担（16件）

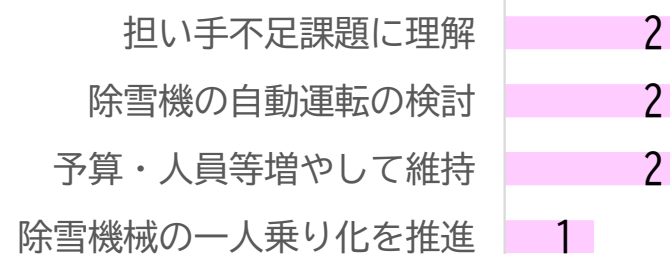
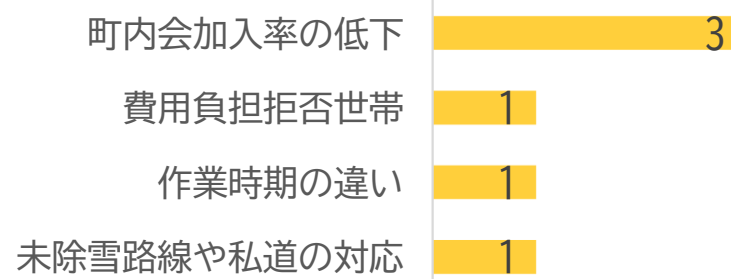
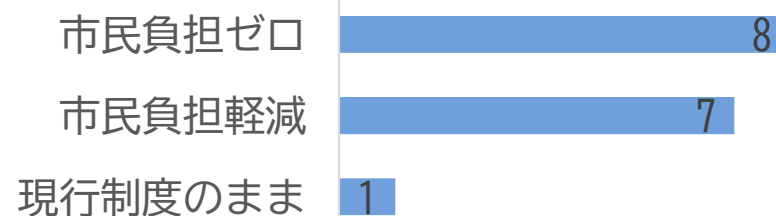
- ・ 市民負担ゼロや負担軽減を望む意見

#### ② 不公平感（6件）

- ・ 地域支払額の上昇や町内会加入率の低下に伴う費用負担の増加など、不公平感に関する様々な意見

#### ③ 将来的な担い手不足（7件）

- ・ 除雪従事者の高齢化や担い手不足の課題感に理解を示す意見

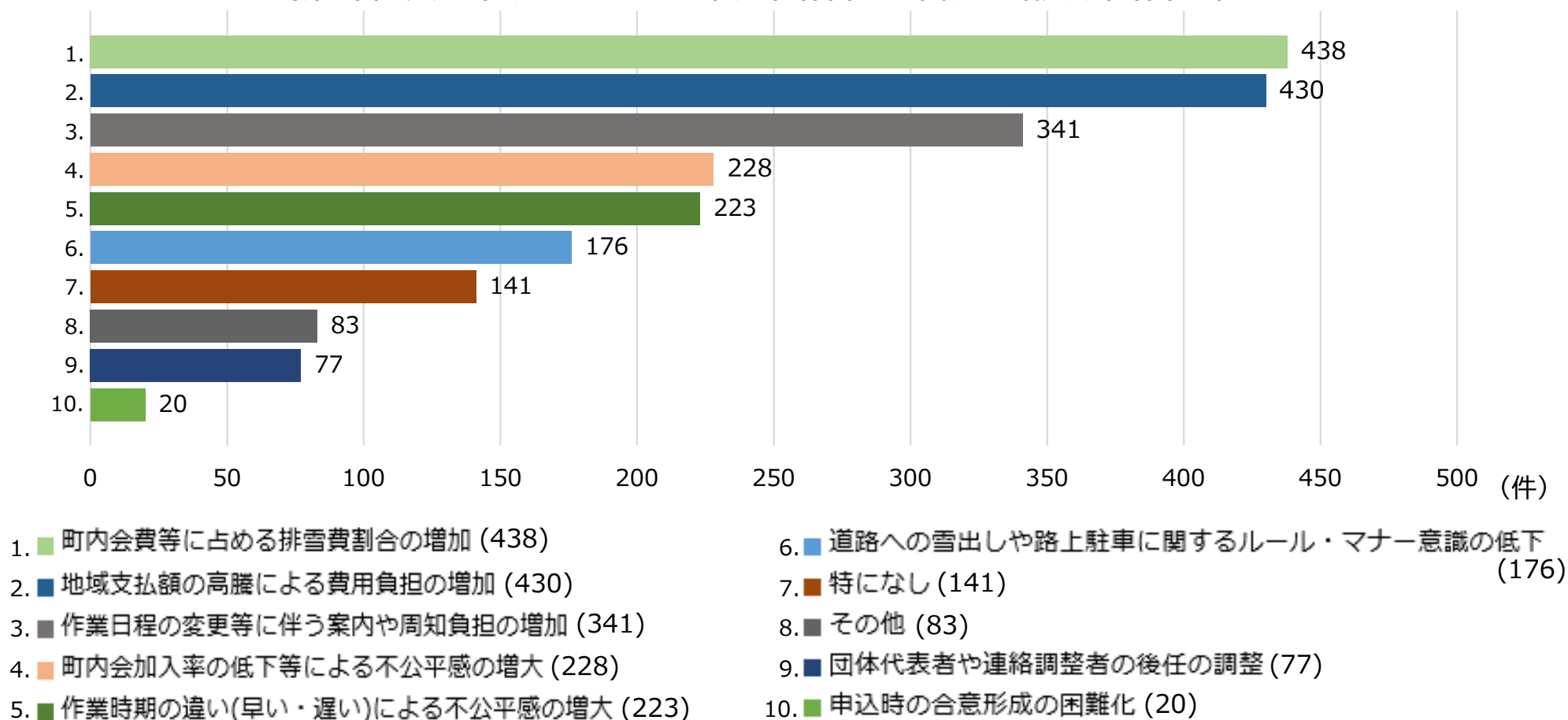


## 2 「地域・行政・事業者」の現状と課題

### 令和5年度 PS排雪実施団体へのアンケート調査結果(抜粋)

対象：1,299件 回収：1,005件（回収率 77.4%）

PS排雪制度の利用にかかる申込団体内の課題（複数回答可）



⇒ 多くの団体で何らかの課題を抱えており、制度の見直し等を望む声も多くある

### 3 意見交換やご議論いただきたい内容



### 3 意見交換やご議論いただきたい内容

地域支払額の上昇など  
地域の課題



将来的な担い手不足など  
行政・事業者の課題

令和5年度 生活道路除排雪の在り方検討に着手

#### 「持続可能な生活道路除排雪の在り方検討会」設置

- ・ 検討過程の透明性・公平性の確保
- ・ 市民意見の反映、様々な立場に立った多様な視点から、今後の生活道路における除排雪の在り方について活発な意見交換を行う  
⇒ 在り方検討に反映する意見をいただく



### 3 意見交換やご議論いただきたい内容

#### 地域の課題

- ・在宅介護サービスや宅配の普及による市民ニーズの変化
- ・PS排雪にかかる地域支払額の上昇
- ・町内会加入率の低下などに伴う不公平感

#### 行政・事業者の課題

- ・従事者の高齢化、将来的な担い手不足
- ・労務費などの上昇に伴う事業費の増加
- ・大雪や暖気などの気象への備え

## 生活道路除排雪の在り方検討

- 1 札幌市の除排雪作業について
- 2 冬期道路環境について
- 3 社会情勢の変化や課題について
- 4 地域・行政・事業者の役割分担について